

木の花ファミリー通信

Vol.42 2011年2月号

木の花ファミリー／特定非営利活動法人 青草の会

419-0302 静岡県富士宮市猫沢 238-1 おひさまハウスひまわり
電話：0544 (66) 0250 ファクシミリ：0544 (66) 0810
ホームページ：http://www.konohana-family.org
メールアドレス：info@konohana-family.org



TOPICS

のりちゃん、今年の節分祭はどうだった？

2月3日は節分の日。翌日の新春祭と合わせて新しい年（立春正月）を迎える、毎年恒例の行事です。どちらもファミリーがとても大切に行っている行事で、飾り付けや舞の練習など、準備にも熱がこもりました。行事が無事に終わったあと、「ご意見番」ののりちゃんに感想を聞いてみました。

まず、「愛とお米があればいい」

あたたかい陽だまりの中、真っ白な梅の花が咲き誇り、春の訪れを感じる今日この頃。近頃は農業研修やケア滞在、メンバーになるための「お試し滞在」と、長期で滞在する人が20名以上になりました。ひとりひとりの個性が花開く時、どんなことが表現されるのでしょうか。想いは宇宙に馳せながら、今日も皆で心磨きに励んでいます！

(のりちゃん)



「花の舞」の日和（前列）、みほちゃん（後列左）、ちーちゃん

の感想は？

子供たちが、きちんとやっていたね。大きくなった分、乱れずにきちんとやってくれて、安心して見てた。空気がまとまって見えたね。去年は、たとえばみこが違う動きをしていたりしてね（笑）。でも今回はなんかハマってたっていうか、ちゃんと役割に徹してたから、安心して見てた。

次は、「花の舞」。

花の舞はねえ、やっぱり、良かった。たとえばみほちゃん、去年はちよつときこちないところが見えたんだけど、今年は練習を意欲的にやって



「鬼の舞」の山見鬼を演じる須佐の凜々しい姿

自分、見劣りがしなかった。それから、やっぱり日和だね。大人の仲間入りをした踊りっという感じで。ちーちゃんはちーちゃんらしく踊ってたし。

「鬼の舞」はどうだった？

みんなよくやってたね。ひろっちがみんなを引っ張って、空気が感じてたんだけど、団長としてひろっちらしくやってるな、って。まあ、もっと思いつきりやれば良かったとか、ひろっちに揃えた動きをみんなができるといいな、とも思ったりもしたんだけど、それは私の望みの部分で、木の花の参加メンバーの今の段階としては、みんな頑張ってたね。

獅子舞のふたりは？

そうだねえ、もつと動きがあってもいいかな、って思った。前が見えないからかな、きつと。でも、なんかもうちよつと動きを工夫してもいいかな、って。

「およねと田吾作」。およねは今年からだね。

およねと田吾作は、もう、ああいう役割だから、あれでいいと思う。ストーリーもすごく考えてたしね。子供たちも参加したし、ちよつと学芸会っぽいところもあったけど、だからこそ木の花らしいっていうのもあって。お笑いをとって、アドリブもあって、あれはあれでいいなあ、って思った。

最後が、「豊穰の舞」か。

豊穰の舞では、私が情的に緊張してたから（笑）。なんかもう：親心っていうか、うちの裕美は大丈夫かな、とか（笑）、のんちゃんもはじめてくれるといいなあ、とかって、それぞれに対する思いがあった。そういう余分な心が私の中にあつたもんで、緊張してたんだよね。だから、最後は「ああ、無事に終わった、よかった」って（笑）。だから、ビデオで見たときのほうが感激して泣けちゃったんだけど、本番はそこまで至らなかった。そういうのは、余分な心なんだよね、きつとね。

ファミリー通信 読者のみなさまへ
 はじめまして! あやの☆☆☆
 富士宮にある特別養護老人ホームの介護スタッフとして
 働きながら、ここ木の花で毎日磨きしています。
 まずは自分磨きから。
 みんなが幸せな世界を目指して
 身近なところから木の花の「幸せエネルギー」を
 お届けします。
 どうぞ、よろしくお願ひいたします。



次回からも あやのひとコマ コラム 続きます。ご期待下さい!!

全体にはどうだった?

全体的にはね、ネット中継が入ったじゃん。その分、発信してるからカメラの方にも手を振ったり、みかちゃんもそういうことを呼びかけてくれたり、そういう空気がすごく去年までとは違ってた。自分たちだけで終わるんじゃないかって、みんなの中の発信する気持ちさらさら広がっているから、それはこれからの木

の花の進んでいく方向のひとつのあらわれだな、って思ってる。

(ようこ)
 *インターネットで録画を閲覧できます!

<http://ustream/09SE>

ただいま
 レコーディング中!

いろいろな仕事の合間をぬって、木の花楽団はただいま

まレコーディング中! 夕暮れ時、「木の花庵」の談話室がミニスタジオに変身します。楽団のメンバーに、ちよつとインタビューしてみました。

みかちゃん(メインボーカル)
 私が神様からいただく歌は、みんなの応援歌だと思ってる。その曲がインターネットで配信されることで、必要な人に届くようになるといういな。

ちなつぴー(ボーカル)

歌手になるのが夢だったけど、それがかなうなんて! レコーディングは、自分を客観的に見るいいチャンス。心を伝える歌たちを、これからもちこちで振りまいていきたい。歌と出逢って、それを発信できることは超幸せ。ありがたいよ。

みちよちゃん(ボーカル)

私は歌う前に神様とつながるようにしてるの。伝えるのに私をお使いください、って。自分で歌をどうこうするのではなく、歌の中に入っている

イメージ。神様のエネルギーが入りやすいように雑念をよけておくようにしてる。

きょうこちゃん(ギター)

心を伝えるのに歌は大切な役割だと思ってる。世の中にこの心が広がっていったらうれしいから、ベストを尽くしてレコーディングしてる。これまでではコンサートが練習のようなものだったけど、レコーディングする時間をしっかりと取ることで、歌も自分たちもレベルアップできるしね。

かずこちゃん(キーボード)

みかちゃんの歌はこの生活そのものを伝えている。一日の始まりに聞くと元気が出る



レコーディング風景。パソコンを使って録音します

と言ってくれる人がいるの。この心が世の中に伝わればうれしいな。

いさおちゃん(レコーディング)

自分の技術を精一杯出すだけかな。繰り返し聞くものだから、一定の質が必要だしね。ミキシングも僕がやるはずだったけど、あつしくんが来てくれて、神様の贈り物だと思った。

無料で、コピーもOKにしてネットで配信するよ。僕らの歌はメッセージを伝えるためのものなので、お金儲けじゃないからね。

+++++

今回、ミキシングを担当してくれているのは、ファミリーメンバーを目指して1月から滞在しているあつしくん。パートナーのみなちゃんとCDを制作するためにミキシングの技術を独学していました。そのあつしくんに、ファミリーでの作業の感想を聞いてみました。

あつしくん(ミキシング)

今日のおすすめ!



無農薬・無肥料栽培
しょうがパウダー
315円 (30g)

ファミリーで自家栽培したしょうがを乾燥、粉末にしたパウダーです。しょうがをすりおろす手間がなく、お料理に便利! また、ジンジャー・ハニーやジンジャー・ティーなどの体を温める飲み物を手軽に楽しめます! もちろん、完全無農薬・無肥料栽培で安心です。ぜひ、ご利用ください!
(4ページにレシピの一例をご紹介します)

でも、パートナーのよしどんと出会ってこのメンバーになつてからは、そうやって凝り固まっていた自分に気づいたの。ここに来て自分を振り返っていく作業を続けていくことで、心が自由になれたし、自分の世界や可能性も広がった。



ちーちゃん、厨房スタッフのみんなの笑顔に囲まれて (左から3人目)

が、何よりも幸せ。皆が作業から帰ってきて、『ごほん、ありがとう!』と言ってくれるだけで、『感謝してくれてありがとう!』という気持ちになるの。これからも皆の幸せのために生きていきたいです。皆さんも、ちーちゃんの愛情のこもったお料理を食べに遊びに来て下さいね!
(ようこ)

みんなで力を合わせて、たくさんの方の意見を聞いて、いいものを作りたいと思ってよ。以前はひとりですべていたんだけど、どうしてもひとりよがりになりがちだった。だから、みんなで作ることの良さを実感してるよ。技術も大切だけど、大切なのは表面的なところじゃない。みんなの心に響くものをつくること为目标!

みなんで心を傾けたレコー

活躍しているちーちゃんがファミリーのメンバーになつ

FAMILY MEMBERS ファミリー紹介

MEMBER ELLSNO.4

ちーちゃん

ディング。ミキシングが完了した曲から、順次ホームペー
ジで公開予定です。どうぞお
楽しみに!

(けいこ)

たのは、おととしの4月。いつも笑いが絶えない厨房で楽しそうにお料理しているちーちゃんに、この2年を振り返ってもらいました。

「メンバーになる前は、いさどんや愛ちゃんとは全然違う人生を歩むんだらうなと思っていたの(編注:ちーちゃんはいさどんと愛ちゃんの娘で、ファミリーとは別に暮らしていました)」。最初は、みんなが「神様」って言うことも宗教っぽくて毛嫌いしてたし(笑)。

皆がいることで自分の心のバランスが調整されるし、心の綺麗な人たちに囲まれているから身も引き締まる!自分には向いていないと思っていた踊りを披露する機会もいたただいたし、人と関わるのも得意じゃなかつたけど、楽しくなってきたしね!」とニコニコ嬉しそうに話すちーちゃんに、キッチンスタッフの皆から温かい言葉がかけられました。

「さつまいもを嬉しそうに煮

ているちーちゃんを見ているだけで、こっちも嬉しくなってくるよ!」(えいこばあ)「若

いエネルギーで活性化されてるよ!」(はるちゃん)「結構やるじゃん!使いまっせ!」(のりちゃん)「いつも一生懸命でいいと思います」(ゆみちゃん)「とっても可愛くて大好きです!ちーちゃんの姿から多くを学んでいます」(のんちゃん)「まさかキッチンスタッフを一緒にやるとは思っていません!」(愛ちゃん)

最後に、ちーちゃんから皆さんへの一言です。「皆が楽しく幸せでいてくれること

今日のおすすめレシピ

konohana recipe>>>038

みそそぼろ

3ページでご紹介したしょうがパウダーを使ったレシピです。お肉を使わないそぼろはファミリーの定番で、お弁当に、ちらし寿司にと大活躍です！



[材料] (卵1個分あたり)

卵	1個
味噌	大さじ1
しょうがパウダー	少々
ごま油	大さじ1

1. 泡立て器で卵と味噌をよく混ぜる。
2. フライパンでごま油を入れ、しょうがパウダーを入れて熱する。
3. 1.を泡立て器で混ぜながら炒める。細かくなったら出来上がり。

畑だより

FROM OUR FIELDS

こんにちは！畑隊のりょうちんです。今回の「畑だより」では、昨年10月にご縁をいただいたフリーエネルギー研究家の飯島秀行さんから教えていただいたいる農法への取り組みについて、皆様にご報告したいと思います。

ファミリーの畑隊と田んぼ隊では、今年から飯島さんに教えていただいた方法で堆肥づくりをしています。この堆肥には、たとえば根菜用の堆肥なら大根や人参などの根菜を刻んで入れ

て、一緒に発酵させます。飯島さんによれば「堆肥づくりも料理と一緒にだよ」ということで、細かく刻んだ野菜を入れたり、水を混ぜるときにはダマにならないように丁寧に混ぜたり、本当に料理を作っているようです。堆肥は上手に発酵するととても良いにおいがして、手を入れたら暖かくて酵素風呂のような気持ち良さです。

ただ、上手に発酵させるのはなかなか難しく、温度が上手に上がりません。何が原因で温度が上がらないのか、素手で堆肥を握ったり嗅いでみたりして五感で感じながら、微生物さんたちがご機嫌で働いてくれるこ

とをイメージして試行錯誤しています。

ここで話のスケールが大きくなるのですが、「色即是空、空即是色」という言葉にも表され



堆肥づくりの様子

ているように、この世界は目に見えるもの(色)と目に見えないもの(空)とのバランスで成り立っています。この世界にあるものは、人間も動物も植物も、微生物も鉱物も、すべて「空」のエネルギー、すなわち見えない世界の無限の力に支えられて存在しています。

飯島さんは、無限に存在する「空」のエネルギーを利用する技術を研究しています。

この堆肥の作り方でも、大切に行っているのは、そのエネルギーが入るようにすることです。堆肥に空気が入りやすいように水分調整したり、きめの細かい空気が入るようにフィルターとして毛布をかけたりと、堆肥が大気中に存在するエネルギーを引き込むように環境を整えてやります。

「我々は持っている」という意味だそう。何かを獲得していくのではなく、すべては与えられているということに気付くこと。飯島さんが実践しているエネルギーの革命も、僕たちが日々大切にしていく心磨きも、目指すところ

は意識をそのように転換していくことなのです。

心も農もエネルギーも、宇宙の法則に沿った実践が本当のエネルギーです。今年は「開花の年」。それを世界に表現していることを思っ、ワクワクしています。

(りょうちん)

木の花ファミリー通信
2011年2月号
編集・制作 / 木の花ファミリー
©2011 木の花ファミリー

★木の花ファミリーとは
94年創立、富士山の麓で有機農業による自給自足を生活の基盤に69人が血縁を超えた家族として生活を営む共同体です。

★NPO法人青草の会とは
01年に木の花ファミリーを母体として有志で設立されたNPO法人です。「いのちがつながる社会」の実現に向けて、環境や福祉への取り組み、有機農業の普及・啓蒙、エコビレッジへの取り組みなど、さまざまな活動を行っています。

★掲載商品のご注文は
品名、数量、送付先のご住所、電話番号をファクシミリまたはメールで1ページ記載の連絡先までお送りください。

このニューズレターはクリエイティブ・コモンズにもとづき、原作者のクレジットを表示し、改変せず、非営利目的で使用する限りにおいて、自由に複製、頒布、展示することができます。

